

桐蔭高校 新たな普通科 入学時(1年次)のコース選択について

みなさんは入学時に、「文専」か「理文」のいずれかを選択することになります。

「理文」は、現時点で、理系へ進学希望の人、理系か文系かの希望が決まっていない人、文系への進学希望の人を対象に、高校1年次で大学入試に必要な教科・科目をバランスよく学べます。

桐蔭生の多くが理系志望であることから、これまでの普通科よりは理系の教科・科目の学習を手厚くしていますが、将来、文系に進む人にとっても、この教育課程で学び、基礎教養を高めておくことは有意義だと考えます。

「理文」からは、2年次以降、「人文系」「文系」「理系」「数理系」の、どの系にも進むことができます。「人文系」と「文系」や「理系」と「数理系」の違いは、進路希望に対応した授業を行うグループ分けですが、詳しくは入学後、1年間をかけて説明します。

「文専」は、文系大学でのハイレベルな学びや研究を想定して、高校でどのようなことを学んでおくほうが良いかを考えて、開設したコースです。結果として、国公立大学の個別試験で、地理・歴史科目が2科目とも高度な論述問題を出題する、超難関大学文系の入試に対応可能な教育課程となっています。

ただし、大学受験への対応だけなら、難関大学を含めた多くの国公立大学文系は、大学入学共通テスト(現センター+試験)と個別試験を合わせても、地理歴史科目が1科目と公民科目が1科目で受験できます。よって、1年次の「理文」を経て、2年次以降に「人文系」や「文系」へと進むことでも、多くの国公立大学文系への受験準備は出来ます。

「文専」を選択するときは、以下のことに気をつけてください。

- ① 1年次で「文専」を選択した場合、2年次以降は「理系」や「数理系」へは進めないで、進路は文系に限定されます。
- ② 1年次において英語や国語の授業内容の一部が「理文」とは異なることもあります。
- ③ 2年次・3年次において、一部の科目選択に制約が生じる場合があります。

「文専」を選択するポイントとしては、

- ① 現時点で超難関大学の文系(法学部や文学部など)への進路希望を強く持っていること。
- ② その希望を実現するために、高校3年間、頑張り通す決意を有すること。
- ③ 難関大学等への進路希望を叶えるための指標となる高い英語力を有すること(英語検定2級程度の英語力が備わっていることが理想的)。

以上のことをご理解の上、1年次で「文専」を希望する場合は、選択カードの裏面に、現時点での進路希望などを含めた選択希望理由を記入していただきます。

皆さんの希望を最優先としますが、希望理由が明確でない場合や、英語力などに課題があると判断した場合には、入学までに学校から連絡させていただき、助言のうえ、再考していただくこともあります。

(参考) 1年次のカリキュラム

理文	国語総合	現代社会	数学 I A	物理基礎	化学基礎	生物基礎	イングリッシュコミュニケーション	英語表現	保健	体育	芸術	情報	総合的な探究の時間	LHR
文専		政治経済	数学 II	世界史B										

(参考) 学習集団の編成

